

施策名：食の安全・安心の確保

事業名	担当課・室名	ページ
食の安全・安心推進事業	食品・生活衛生課	1 / 1
HACCPフォローアップ支援事業	食品・生活衛生課	1 / 1
食品輸出支援体制強化事業	食品・生活衛生課	1 / 1

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-5-(4)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価			
1	食の安全・安心推進事業 (H15～) 食品・生活衛生課 食の安全・安心を確保するため、事業者に対する食品事故防止対策や消費者に対する正確な情報周知を行うとともに、両者の相互理解を図るため、リスクコミュニケーション(消費者と事業者間の情報共有や意見交換等)を実施する。	①食の安全確保対策 ・自然毒による食中毒発生の予防啓発と検査体制強化 ・食中毒検査体制の維持 ②食の信頼性確保対策 ・食品関連事業者や消費者に向けた食品表示に関する講習会等の開催 ③食の安全・安心確保体制の運営 食品安全推進県民会議及び食の安全確保・食育推進本部の運営	① 1,754 ③ 343	消費者等の理解度向上割合	目標値	60.0	60.0	80.0	A			
			② 996 ④		実績値	100.0	93.5	—				
			主な活動指標と達成率			[%]		達成率	166.7%	155.8%	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 リスクコミュニケーションとして、子育て世代等を対象とした消費者向け講座を開催し、食の安全・安心に対する理解力の向上につなげることができた。 引き続き、事業者に対しては、食中毒防止や適正表示のための講習会等を行うとともに、消費者に対しても講習会やリスクコミュニケーションを実施することで、食の安全と信頼性を確保する。
			食品表示適正化に向けた普及啓発回数	目標値	56	実績値	56	達成率	100.0%			
			消費者等を対象とした研修会の開催回数	目標値	2	実績値	3	達成率	150.0%			
予算額 (うち翌年度繰越額) 3,683 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 3,093 (74)												

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価			
2	HACCPフォローアップ事業 (R4～R6) 食品・生活衛生課 食の安全を確保するため、HACCPの導入に取り組み食品取扱事業者を支援するとともに、HACCP導入後の実効性を担保するため、現地指導などのフォローアップを実施する。	①施設の現地確認・指導 ・食品衛生協会指導員が施設訪問してHACCPフォローアップを実施 ・民間指導者による国際認証施設等の妥当性審査 ・民間指導者のスキル維持に向けた研修会の開催 ②新規事業者への導入支援・講習会の開催 衛生管理計画作成セミナーの開催とWeb HACCPの運用・改修 ③情報発信基盤システムの維持 HACCP(クラウド)データ管理 ④指導基準の新規策定 干物や海藻について衛生管理のための基準を大分県食品衛生指導基準に追加	① 15,057 ③ 3,366	HACCP実施率	目標値	90.0	90.0	90.0	A			
			② 8,079 ④ 1,171		実績値	100.0	100.0	—				
			主な活動指標と達成率			[%]		達成率	111.1%	111.1%	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新規事業者へのセミナー開催、HACCPの衛生管理計画をWeb上で作成できるサイトの利用促進、HACCPの専門知識を有する民間指導者の個別巡回指導等、新規事業者における導入支援と導入後のフォローアップを行い目標を達成した。また、定着に向けた更なるフォローアップのため、干物や海藻の細菌数等の実態調査を行い、衛生管理のための基準を策定した。引き続き、巡回指導等を通じて事業者へのHACCP定着を進める。
			フォローアップ件数	目標値	5,000	実績値	5,287	達成率	105.7%			
			[件]	目標値		実績値		達成率				
予算額 (うち翌年度繰越額) 28,548 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 27,673 (12,836)												

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価			
3	食品輸出支援体制強化事業 (R3～R5) 食品・生活衛生課 食品の安全性を担保し輸出を支援するため、輸出相手国からの要求に基づく検査を実施するとともに、輸出相手国や輸出件数の増加した際にも高いレベルの検査精度を維持するため、先進地視察を含めた職員研修の拡充等により輸出関連業務の効率化を図る。	①輸出相手国からの要求への対応 国際的なGLP管理に対応するための機材を整備 ②輸出関連業務の効率化 微生物検査、病理検査の迅速化に用いる検査資材の導入 ③HACCP外部検証の実施 ・微生物検査体制構築のための機材等を実施 ・残留物質モニタリング検査の実施	① 3,650 ③ 987	HACCP外部検証における適合結果率	目標値	91.6	100.0		B			
			② 2,016 ④		実績値	95.0	96.6					
			主な活動指標と達成率			[%]		達成率	103.7%	96.6%		事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 大分県畜産公社に対し検査結果に基づく助言・指導を行い、作業手順等を改善させることで食肉の安全性を確保することができた。また、米国等からの要求に基づく機器整備、GLP管理を実施し、輸出認定を維持した。 当初の目的を概ね達成したことから、当事業は終了するが、今後も輸出認定を維持し、食肉の輸出を支援するため、HACCPによる食肉の安全性の確保や輸出相手国からの要求に基づく検査を経常的経費にて継続実施する。
			現場検査、記録検査の実施率	目標値	100.0	実績値	100.0	達成率	100.0%			
			[%]	目標値		実績値		達成率				
予算額 (うち翌年度繰越額) 6,965 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 6,653 (3,262)												